

## 令和2年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【2年目】

P T A名	静岡県立袋井特別支援学校 P T A
学 校 名	静岡県立袋井特別支援学校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	377人

### 1. 使用状況

寄贈物品名	屋外複合遊具
使用学年及び人数	小学部1～6年児童 約130人
使用頻度	晴れた日は毎日
使用状況	○晴れた日の昼休みに使用しています。昼休みの間、繰り返し何回も遊んだり、他の遊具を巡りながら遊んだりしています。
物品の使用による変化や効果	○昼休みに、外で遊ぶのを楽しみにしており、晴れている日は進んで外遊びをしています。 ○滑り台を滑るだけでなく、ネットやクライミング、くるくる棒など、好きな遊びを見つけて、夢中になって遊ぶ姿が見られるようになりました。 ○友達と一緒に遊んだり、順番を待ったりと、友達を意識して遊ぶ様子も見られました。
今後の活用の見通しや課題	○複合遊具が増えたことで、外の遊び場がより魅力的な場所となり、遊びに行くことを楽しみにしている児童が増えました。 ○遊具遊びを通して、自然と体の使い方を学んだり、友達との関わったりすることができています。
その他希望や所感など	○休み時間に外で体を動かして遊ぶことで、他の生活場面とのメリハリができ、より充実したものとなっていると感じます。

## 2. 活用の様子



「昼休み」  
たくさん 外で 遊ぶよ！ 楽しいな！

